



# 南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！アクティブ南関中」

R4南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 26 (文責 永杉尚久)

## 第3回学校運営協議会

3月10日に本年度最後の学校運営協議会を開きました。学校評価の結果を受けて、質疑応答や次年度取り組むべき内容等についてご意見をいただきました。主な内容は、次の通りです。

- 目標を持って生活している生徒は、生き生きしている。文化の日の合唱では、指揮や歌声に生徒たちの個性と表現力がよく出ていた。
- 生徒たちと先生方の学校の課題に対するミーティングは、重要であるとする。学校運営協議会の委員もどのような話し合いになっているのか参観してみたい。
- 生徒に夢や目標を明確に持たせるために、キャリア教育の充実を図って欲しい。時間が許せば、職場体験を1人1箇所から2箇所以上に増やしてはどうか。

この他にも、家庭学習、あいさつの様子はじめの実態などについてご質問、意見交換を行いました。次年度へつなげていきたいと考えています。



意見を述べられる委員様

## 中学校で育てたい資質能力を身に付けた姿とは！！

中学校3年間で3つの資質能力（主体的挑戦力、夢実現力、絆構築力）を身に付けて、次のステップに羽ばたかせたいと願っています。3つの資質能力を身に付けた生徒の姿とは具体的にどのような姿でしょうか？

私は、「生徒一人一人が自信を持って自分の夢を語るとともに仲間の夢の実現を支え応援できる姿」を思い描いています。「進路公開」や「ようこそ先輩」で小学生や後輩たちに自分の夢を語る3年生の様子を見ながら、めざしているものを見つけた気がしました。1・2年生の皆さんが、あの姿をめざして学校生活を送ってくれたらと願っています。

## 今日の論語

子貢問いて曰わく、「一言にして 以て終身之を行ふ可き者有りや。」と。

子曰わく、「それ恕か。己の欲せざる所を、人に施すこと勿かれ。」と。

子貢が聞きました、「生涯行うべきことを一言で言うとは何ですか。」と。

先生は言われた、「それは、相手を思う心だ。自分がされていやなことは、人にやらないことだ。」と。

みんながこのように行動できれば、争いのない社会になると思うのですが・・・。

## 一人芝居「君をいじめから守る」

3月15日に教育子育て講演家 福永宅司さんを学校にお招きして一人芝居の公演を行っていただきました。ある中学校で起こった深刻ないじめをもとに創られた内容で、生徒たちそして教職員の心に刺さるものでした。

終了後の意見交流では、自分の経験を振り返っていじめを受けたり、してしまったりした自分の思いを語る生徒の姿がありました。命を大切にすること、仲間とつながること、人権教育を大事にしていくことを考えた一時でした。南関中にしっかりと人権文化を根づかせていきたいと強く思いました。

